

【専門分野】

科目名	成人看護援助論Ⅱ(回復期)	講師名	岡山医療センター看護師A(10)	学	1	履修期	第2学期	
単 位	1単位		岡山医療センター看護師B(10)					
時間数	30時間		岡山医療センター看護師C(10)					
授業概要	ライフサイクルにおける成人期にある対象の特徴を理解し、健康段階に応じた看護の役割、機能、疾患や症状に応じた援助について学ぶ。							
授業科目目標	1. 回復期の患者に起こっている機能障害に伴う症状の看護、検査・治療の看護が理解できる。							
授業計画	<p>1～5回：消化・吸収機能障害のある患者の看護</p> <p>1) 大腸・直腸癌患者の看護</p> <p>(1) 症状に伴う看護(便秘・下痢・腹部膨満・下血)</p> <p>(2) 検査、治療を受ける患者の看護</p> <p>①下部内視鏡検査 ②注腸造影</p> <p>③人工肛門を造設した患者の看護(理論を用いた事例の活用)</p> <p>自己概念、障害受容過程</p> <p>6～10回：脳・神経機能障害のある患者の看護</p> <p>1) くも膜下出血患者の看護</p> <p>(1) 症状の観察(脳神経系のフィジカルアセスメントを含む)</p> <p>(2) 症状の看護(頭痛・意識障害・頭蓋内圧亢進・運動麻痺・痙攣)</p> <p>(3) 検査、治療を受ける患者の看護(脳室ドレナージ、ROM訓練、三角巾固定)</p> <p>2) 脳梗塞患者の看護</p> <p>チームアプローチと社会資源の活用、患者の社会参加への支援</p> <p>11～14回：運動機能障害のある患者の看護</p> <p>1) 脊椎・脊髄に障害のある患者の看護</p> <p>(1) 症状に伴う看護(腰痛・麻痺・尿失禁・便失禁)</p> <p>(2) 検査、治療を受ける患者の看護(脊髄造影検査、コルセット使用)</p> <p>2) 骨折の患者の看護</p> <p>(1) 症状に伴う看護(疼痛、神経障害)</p> <p>(2) 検査、治療を受ける患者の看護(ギプス固定、牽引療法、三角巾固定、CPM)</p> <p>15回：終了試験</p>					講義	講義	講義
評価方法	筆記試験							
テキスト	<p>1. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [1] 成人看護学総論, 医学書院.</p> <p>2. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [5] 消化器, 医学書院.</p> <p>3. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [7] 脳・神経, 医学書院.</p> <p>4. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [10] 運動器, 医学書院.</p>							
参考書	<p>1. 任和子他編：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術, 第2版, 医学書院,</p> <p>2. 井上智子：病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程+病態関連図, 医学書院.</p> <p>3. 市村久美子：看護過程に沿った対応看護 病態生理と看護のポイント 第4版, 学研.</p>							
学生へのメッセージ	<p>急性期を経て回復期にある患者の、身体的・精神的・社会的側面の特徴を理解し、患者のニーズに合わせた看護を学んで欲しいと思います。各疾患への援助を学びながら、アセスメントのポイントをおさえ、患者にとって何が必要か考える力を身につけていきましょう。</p> <p>【関連科目】解剖生理学Ⅰ・Ⅲ、病理学Ⅰ・Ⅲ、薬理学、臨床治療論、共通基本技術Ⅲ、生活援助技術Ⅰ、診療関連技術Ⅱ、臨床看護総論、成人看護学概論</p>							